



Nipponham Group Group Profile 2024

ニッポンハムグループ 会社案内 2024

理念&Vision

企業理念

1. わが社は、「食べる喜び」を基本のテーマとし、時代を画する文化を創造し、社会に貢献する。
2. わが社は、従業員が真の幸せと生き甲斐を求める場として存在する。

経営理念

1. 高邁な理想をかかげ、その実現への不退転の意志をもって行動する。
2. 人に学び、人を育て、人によって育てられる。
3. 時代の要請に応じて時代をつくる。
4. 品質・サービスを通して、縁を拡げ、縁あるすべての人々に対する責任を果たす。
5. 高度に機能的な有機体をめざす。

Nipponham Group Vision2030



ニッポンハムグループは、もっと自由な発想で、
生きる力となるたんぱく質の可能性を広げていきます。

環境・社会に配慮した安定供給を行い、
人々が食をもっと自由楽しめる多様な食生活を創出していきます。

ニッポンハムグループのあゆみ

たんぱく質に始まり、たんぱく質の未来を広げる
ニッポンハムグループ

企業理念
経営理念

動物性たんぱく質の
安定供給

ハム・ソーセージ



乳製品



水産加工品



食肉



加工食品



ハラール対応



減塩・低塩



動物性たんぱく質の
多様な摂取機会の提供

食物アレルギー対応



大豆肉



細胞性食品



新しいたんぱく質の
選択肢の創造・提供

麺



藻類



もっと自由な
たんぱく質の
「選択肢」を

もっと自由に
たんぱく質を
「楽しむ」

Vision2030

たんぱく質を、
もっと自由に。

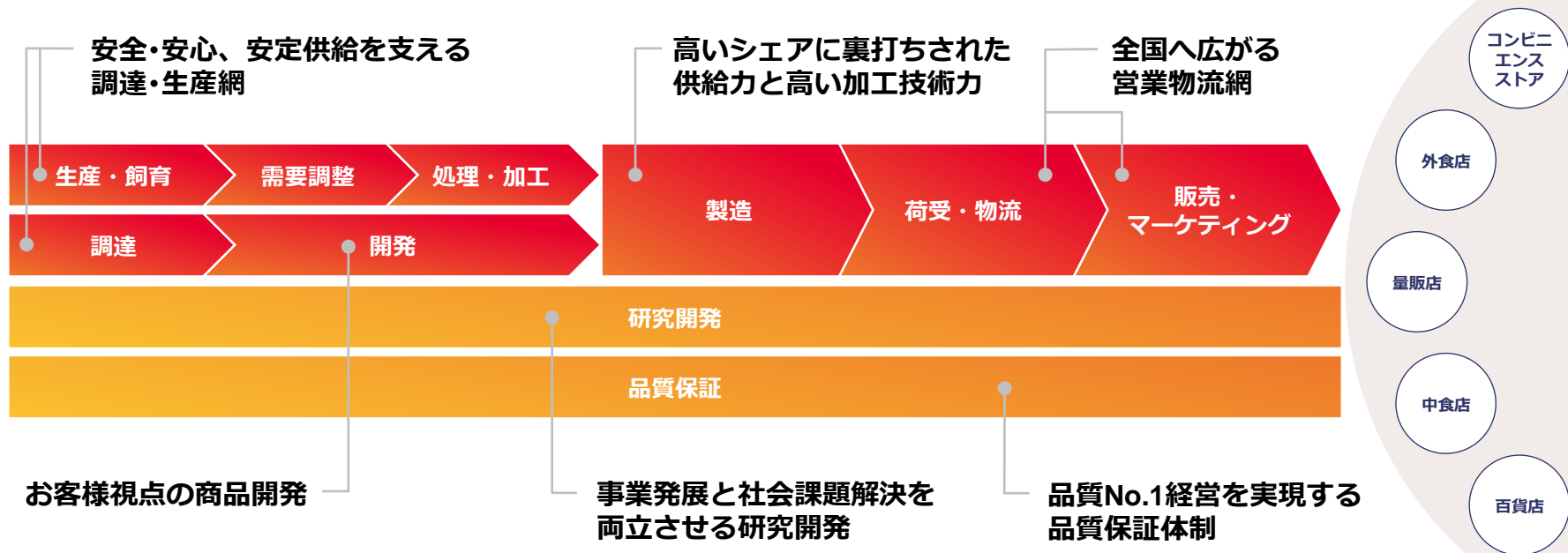
もっと自由を
享受するために
「果たすべき責任」

もっと自由に
「生きる」

もっと自由に
「挑戦する」

ニッポンハムグループの強み

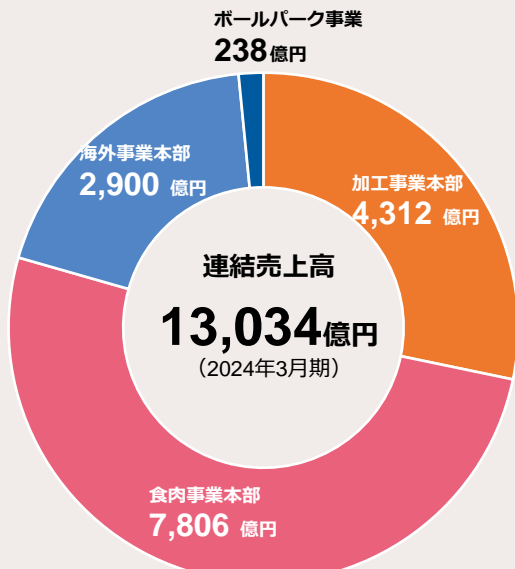
世界に誇るビジネスモデル「バーティカル・インテグレーション・システム」を構築しています



事業概要

ニッポンハムグループの事業は、ハム・ソーセージ、食肉、加工食品、水産品、乳製品などさまざまな「食」の領域へ広がっています

2023年度の実績
(売上高構成比)



※全社調整の算出を記載していないため、セグメント売上高の合計と連結売上高は合致しません。

日本人のたんぱく質摂取量の

約**6%**
を供給



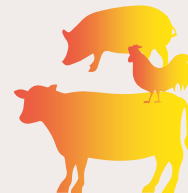
国内の食肉市場全体シェア
(2024年3月現在、当社調べ)

約**20%**
食卓に5回に1回のお肉を提供



国内食肉加工業界売上
(2023年3月期)

1位



(注) 当社取り扱い重量データおよび外部データをもとに当社にて推計

事業セグメント ー加工事業本部

お客様視点の商品開発で、 多様な食のニーズに応える

加工事業本部は、ハム・ソーセージ、加工食品、乳製品、水産品、エキス調味料等の開発、製造、販売を行っています。「シャウエッセン®」「中華名菜®」「石窯工房®」などのトップシェア商品や「バニラヨーグルト」などのロングセラー商品を展開しており、コンシューマはもちろん、コンビニエンスストアや外食店など幅広い領域で食を支えています。



おもな取り扱いブランド



「シャウエッセン®」



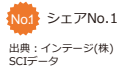
「石窯工房®」



「中華名菜®」



「スタミナ苑®」



「バニラヨーグルト」



「ロールフスモークチーズ」

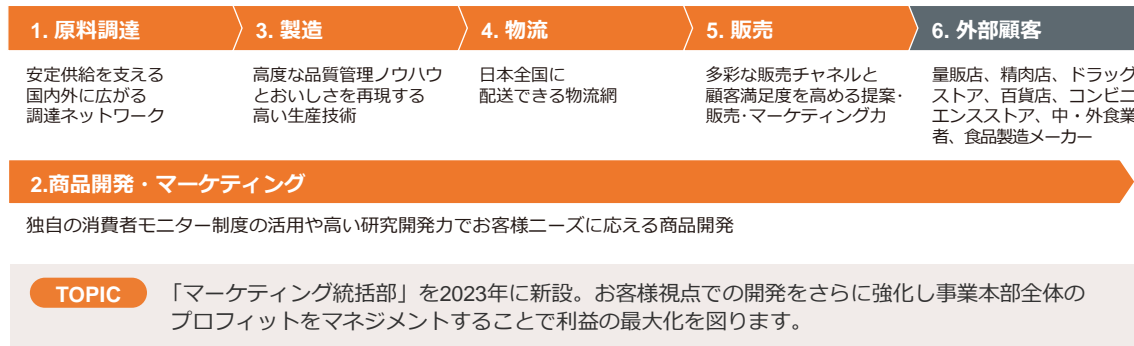


「さば缶水煮」

2023年度 売上実績



バリューチェーンごとの強み



事業セグメント 一食肉事業本部

持続可能なバリューチェーンを構築し、食生活を支える

食肉事業本部は、食肉の生産から販売までを手掛ける「パーティカル・インテグレーション・システム」を構築し、国内外からの食肉の調達網、フード会社の販売網を構築してきました。現在日本国内の食肉販売量の約20%を取り扱っています。



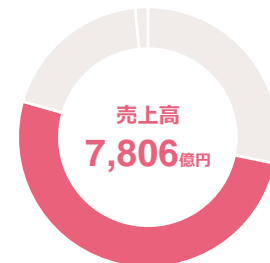
三大ブランド



主なブランド



2023年度 売上実績



食肉市場でのシェア (2024年3月時点、当社調べ)



バリューチェーンごとの強み

1. 生産・飼育 国内・豪州など品質管理された自社農場における安定的な供給	2. 処理・加工 自社工場による鮮度の高い食肉の供給や用途に合わせた加工によりお客様ニーズに対応	3. 荷受 全ての畜種をラインナップし、国内外の多様な産地からの安定調達と需給調整をする専門人材を配置
4. 物流 国内最大規模の食肉物流拠点により、最適な物流体制を構築	5. 販売 全国に広がる販売網の保有と顧客に応じた営業	6. 外部顧客 量販店、食料品店、精肉店、食肉卸、中・外食業者、各種食品製造メーカー

事業セグメント ー海外事業本部

世界に広がる事業で、 国・地域に根差した食を提案

海外事業本部は、豪州、中東において、牛・鶏の生産・飼育、処理・加工の事業をはじめ、北米、アジア、欧州等において、加工品の製造・販売、トレーディングの事業を推進しています。わたしたちの製品は、食の伝統や価値観、多様な嗜好、食へのニーズを理解・尊重し、現地、第三国、日本など世界各地にお届けしています。



海外拠点／海外で展開する主なブランド商品



2023年度 売上実績

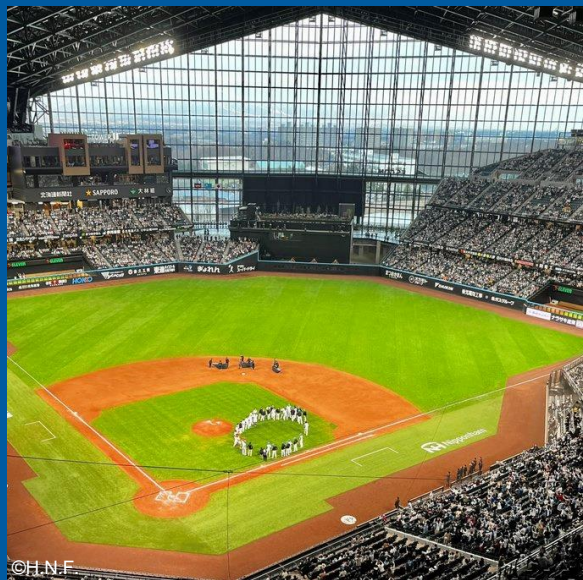


	加工	食肉	トレーディング
	一部日本向け供給に対応しつつ、現地で国内販を進める	牛肉事業は豪州に資本を集中させボラティリティを低減し、アジアを中心に需要増に対応	食肉事業本部への供給をおもに、日本向け食肉輸出を担う
事業エリア	アジア	グループ会社5社 ベトナム/インドネシア/中国/タイ	グループ会社4社 タイ/シンガポール/台湾
	豪州		グループ会社4社 オーストラリア
	欧州		グループ会社1社 イギリス
	北米	グループ会社1社 アメリカ	グループ会社1社 アメリカ
	中南米		グループ会社2社 チリ/メキシコ
	中東		グループ会社1社 トルコ

- 現地向け
- 第三国向け
- 日本向け

事業セグメント ーボールパーク事業

Fビレッジを核としたスポーツと
エンターテインメントで
社会に貢献



プロ野球球団「北海道日本ハムファイターズ」の経営に関わり、2023年3月に新球場の「ES CON FIELD HOKKAIDO」が開業したボールパーク事業。北海道ボールパークFビレッジを通じて、「スポーツの価値」と「北海道の価値」を融合させたビジネスモデルによる新しい「街づくり」を推進しています。

また、官・民・学の多岐にわたる事業者の参画や、ボールパークを楽しむ来場者と各種商品・サービスを提供するパートナーを結び付けることで、共創・連携による街づくりを進め、イノベーションの創出も目指しています。

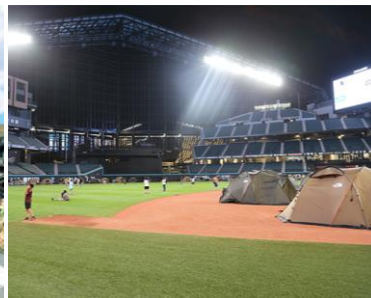
2023年度 売上実績



F VILLAGE STARLING LIVE



親子キャンプ



スタンドアップパドルボード



研究開発

中央研究所

「食べる喜び」をお届けする、 研究開発を推進

中央研究所は、ニッポンハムグループの中核研究機関としてVision2030実現に向けて、新たなたんぱく質の研究開発や循環型社会の実現に貢献する技術研究に取り組んでいます。



マテリアリティに基づいた研究テーマを推進しています



たんぱく質の 安定調達・供給

- 新たなたんぱく質の研究
研究テーマ - 細胞性食品(培養肉)、麩
- 畜産業負荷低減
研究テーマ - スマート畜産技術開発
スマート養豚システム「PIG LABO」
2022年10月~テスト販売開始



スマート養豚システム「PIG LABO」



食の多様化と 健康への対応

- 食物アレルギー
研究テーマ - 食物アレルギー検査キット開発
- 食物アレルギー予防研究
- 健康寿命延伸
研究テーマ - 東京大学社会連携講座



検査キット



持続可能な 地球環境への貢献

- 温室効果ガス削減
研究テーマ - 家畜由来メタン排出削減・回収に関する共同研究

TOPIC

肉類摂取が高齢期のフレイル予防の栄養ケアとして有効である可能性が明らかに

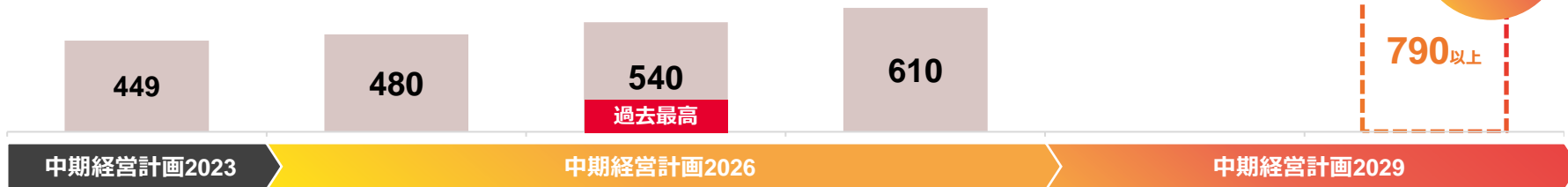
地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センターとの共同研究により、512名の地域在住高齢者を対象に肉類の摂取量とさまざまなフレイル関連指標との関わりを横断的に検討しました。その結果、肉類を多く摂取している高齢者は最大歩行速度が速いことを確認しました。

該当ニュースリリース：<https://www.nipponham.co.jp/news/2023/20230420/>

中期経営計画2026

継続的な収益力の強化により過去最高益を更新するとともに、資本効率の向上を目指す

(億円)



中期経営計画2023

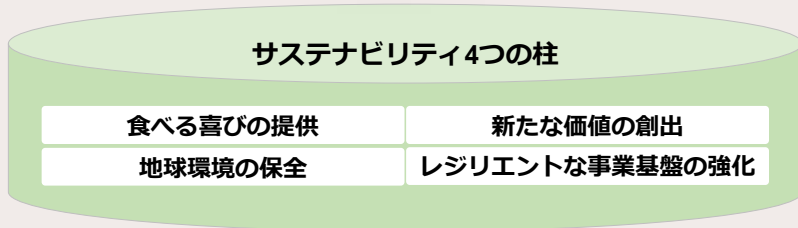
中期経営計画2026

中期経営計画2029

(億円)

	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期	事業利益 (内訳)	2027年3月期
売上高	13,400	13,500	13,800	加工事業本部	160
事業利益	480	540	610	食肉事業本部	425
事業利益率	3.6%	4.0%	4.4%	海外事業本部	65
親会社の所有者に帰属する当期利益	270	310	380	B P 事業	26
ROE	5.2%	6.0%	7%~8%	消去調整	△66
ROIC	4.4%	5.0%	5%~6%		

サステナビリティ戦略



事業活動を通じた
社会課題の解決

ニッポンハムグループは
人々の楽しく健やかな
暮らしに貢献し、
生命の恵みを育む
地球環境との調和を
目指します

マテリアリティへの取り組み 一環境



「持続可能な地球環境への貢献」に基づき、目標を設定しています。

重点項目	目標	対象
気候変動への対応	国内の化石燃料由来の CO2排出量 46%以上削減 (2013年度比：国内)*	国内全拠点
	海外の化石燃料由来の CO2排出量 24%以上削減 (2021年度比)*	海外
省資源・資源循環	国内の 廃棄物排出量 5%削減 (2019年度比：製造数量当たりの原単位)*	国内処理・製造拠点 (55拠点)
	国内の廃棄物排出量 に対する リサイクル率 92%以上*	国内全拠点
	用水使用量削減	国内の 水使用量 5%削減 (2019年度比：製造数量当たりの原単位)*
海外の 水使用量 5%削減 (2021年度比)*		海外
生物多様性の対応	RSPO認証パーム油使用率 100% (ブック アンド クレーム含む)*	認証パーム油 国内外の拠点

* 目標は2030年度とする

TOPIC

パッケージ変更によるプラスチックの削減

「シャウエッセン®」シリーズにおいては、巾着タイプからエコ・ピロタイプに変更しました。また、「中華名菜®」シリーズはノントレイ包装に切り替えを行っています。これらパッケージ変更により、プラスチックの削減を進めています。



工場設備・装置を見直し水使用量を削減

年間約17万頭の豚を出荷している日本フードパッカー（株）四国工場では、冷蔵庫の霜取り装置の改善や洗浄ノズル等の見直しを行った結果、2023年5月からの1年間で水使用量の23.7%削減を実現しました。

マテリアリティへの取り組み 一人財戦略について

ニッポンハムグループでは、企業価値向上に向け、
企業理念である「従業員が真の幸せと生き甲斐を求める場」の実現を目指しています。

1 個の成長 — キャリア自律支援

当社では、従業員が自ら積極的にキャリア設計できるよう、さまざまなキャリア開発支援制度を導入しているほか、ライフキャリアとワークキャリアを組み合わせた年齢別の「キャリアプランセミナー」や専門性の取得促進も行っています。

対象年齢		内容
I	29歳	● ライフキャリア ● ワークキャリア 各階層に合わせた内容でそれぞれ実施
II	39歳	
III	49歳	
IV	54歳	

2 組織の成長 — 価値創造力強化

従業員の教育について各階層ごとに行われる各種研修プログラムに加えて、各自のキャリア自律を促進するための目的別人材育成研修を拡充しています。

研修等

- 階層別研修
- 目的別人材育成研修
- 昇格プログラム
- 次世代育成研修



職場

- OJT（職場での業務実践）
- MBO
- キャリア面談
- 自己申告制度

3 ダイバーシティ・エクイティ & インクルージョンの実現

誰もが働きやすく、より多様な人材が活躍できるよう、多様性を広げるためのダイバーシティ・エクイティ & インクルージョン、創造性を高めるためのワークライフバランス、それぞれにつながる働き方改革に取り組んでいます。

女性管理職比率
日本ハム（株）

10.7%
(前期比 +0.9%)

年間総実労働時間
日本ハム（株）

1,968時間
(前期比 -2時間)

ストレスチェック受検率

日本ハム（株）
97.8%
(前期比 -0.1%)

国内のニッポンハムグループ
95.5%
(前期比 +1.0%)

会社概要

商号	日本ハム株式会社／NH Foods Ltd.
設立	1949年5月30日
資本金	362億94百万円
代表取締役社長	井川 伸久
事業内容	<ul style="list-style-type: none">食肉加工品（ハム・ソーセージなど）および調理食品の製造・販売食肉の生産・処理・販売乳製品および水産物の製造・販売
本社住所	〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 プリーゼタワー
電話番号	06-7525-3026

世界に誇るビジネスモデル「パーティカル・インテグレーション・システム」



生産・飼育



処理・加工



荷受・物流



マーケティング
販売



量販店
外食店

生産・飼育から、処理・加工、販売までを自社グループにて一貫して行う「パーティカル・インテグレーションシステム」がグループの最大の強みです。これによって高付加価値の食肉、ハム・ソーセージを提供するほか、畜産の副産物から抽出したエキース調味料、コラーゲンなどの機能性素材の製造・販売なども行っています。

グループ会社数※1

72社



国内 47社 / 海外 25社
日本ハム（株）含む

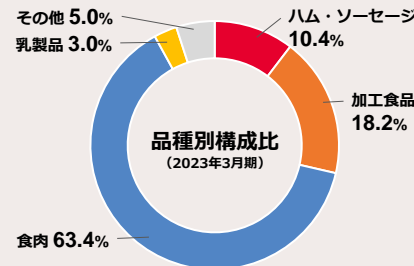
グループ従業員数※2

25,912名

国内 20,776名 / 海外 5,136名

グループ連結売上高

1兆3,034億円



グローバルネットワーク

ニッポンハムグループは世界各地で事業を展開しています。
現在では海外15の国・地域に拠点をもち、生産・飼育、処理・加工、
製造・販売等の事業領域を確立しています。

事業拠点数 (2024年3月末)

475 拠点



参考資料



日ハム式 たんぱく質未来マップ

多様なたんぱく質の供給と価値向上を通じて日本の食の未来を支え続けるニッポンハムグループのさまざまな取り組みをご紹介します。



統合報告書

当社グループの経営方針や成長戦略をご理解いただき、対話を促進するためのコミュニケーションツールです。



Table for All 食物アレルギーケア

日々の研究で収集した情報や食品メーカーならではのメニュー提案を食物アレルギーの視点でわかりやすく発信します。



Rotary

ニッポンハムグループの情報発信のほか、時流をとらえた食の話題やレシピ、健康とのかかわりなど、さまざまな角度から「食」に向き合う誌面づくりを目指しています。



たんぱく質を、もっと自由に。

Nipponham Group Vision 2030